

理事長のごあいさつ



理事長：中川原 章
(なかがわら あきら)

今年は、とくに暑い夏でした。その夏も過ぎ、9月そして10月になると日に日に秋の気配が深まってきました。

その中であって、7月29日には第2回目の夏祭りを好生館の駐車場で開催し、嘉瀬有重地区を中心に約800名、好生館の患者・家族・職員を含めると約1000人が参加して、楽しいひと時を過ごしました。また、これから地域の方々のための講演会も予定されています。このような地域社会との繋がりを深めながら、一方では、地域のかかりつけ医や病院との連携をさらに強固にするため、第3回地域医療連携懇談会を9月22日に開催しました。これからも好生館は、このような地域社会との関係を大切にし、地域医療を支えるという気概を持って、創設者鍋島直正公の教えに従い、世界を見て前進したいと思います。

2年以上をかけて調査し、編集してきた「好生館180年記念誌」がまもなく刊行の予定です。多少盛り沢山になりましたが、多くの方々に読んでいただき、私達も、歴史に学びながら好生館の将来を考えていきたいと思っています。

前回の好生館だよりで働き方改革について述べましたが、現在、身を切るような改革を進めています。しかし、時代に合った改革は常に必要であり、ピンチをチャンスと捉え、より洗練された職場環境を作るために、職員一同頑張っていく所存です。

今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

平成29年10月